

全国消費者物価指数とスライド率

(H15年特例法以降における全国消費者物価指数とスライド率の関係)

年平均全国消費者物価指数(平成12年基準)の推移～毎年1月最終金曜日公表

11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年
100.7	100.0	99.3	98.4	98.1	98.1	97.8
▼0.3	▼0.7	▼0.7	▼0.9	▼0.3	0.0	▼0.3

従前額報酬比例部分年金額計算における物価スライド率の推移

* 従前額報酬比例部分 = H6平月(平額) × 旧乗率 × 月数 × 1.031 × 物価スライド率

H15年度	* H13年12月以前の被保険者期間がある場合の物価スライド率	$\frac{(H14)98.4}{(H13)99.3} \approx 0.9909$	=	0.991
	* H14年 1月以降のみの被保険者期間の場合の物価スライド率		=	1.000
H16年度	* H13年12月以前の被保険者期間がある場合の物価スライド率	$\frac{(H14)98.4}{(H13)99.3} \times \frac{(H15)98.1}{(H14)98.4} \approx 0.9879$	=	0.988
	* H14年 1月以降のみの被保険者期間の場合の物価スライド率	$\frac{(H15)98.1}{(H14)98.4} \approx 0.9970$	=	0.997
	* H15年 1月以降のみの被保険者期間の場合の物価スライド率		=	1.000
H17年度	* H13年12月以前の被保険者期間がある場合の物価スライド率	$\frac{(H14)98.4}{(H13)99.3} \times \frac{(H15)98.1}{(H14)98.4} \times \frac{(H16)98.1}{(H15)98.1} \approx 0.9879$	=	0.988
	* H14年 1月以降のみの被保険者期間の場合の物価スライド率	$\frac{(H15)98.1}{(H14)98.4} \times \frac{(H16)98.1}{(H15)98.1} \approx 0.9970$	=	0.997
	* H15年 1月以降のみの被保険者期間の場合の物価スライド率	$\frac{(H16)98.1}{(H15)98.1} \approx 1.000$	=	1.000
	* H16年 1月以降のみの被保険者期間の場合の物価スライド率		=	1.000
H18年度	* H13年12月以前の被保険者期間がある場合の物価スライド率	$\frac{(H14)98.4}{(H13)99.3} \times \frac{(H15)98.1}{(H14)98.4} \times \frac{(H16)98.1}{(H15)98.1} \times \frac{(H17)97.8}{(H16)98.1} \approx 0.9849$	=	0.985
	* H14年 1月以降のみの被保険者期間の場合の物価スライド率	$\frac{(H15)98.1}{(H14)98.4} \times \frac{(H16)98.1}{(H15)98.1} \times \frac{(H17)97.8}{(H16)98.1} \approx 0.9939$	=	0.994
	* H15年 1月以降のみの被保険者期間の場合の物価スライド率	$\frac{(H16)98.1}{(H15)98.1} \times \frac{(H17)97.8}{(H16)98.1} \approx 0.9969$	=	0.997
	* H16年 1月以降のみの被保険者期間の場合の物価スライド率	$\frac{(H17)97.8}{(H16)98.1} \approx 0.9969$	=	0.997
	* H17年 1月以降のみの被保険者期間の場合の物価スライド率		=	1.000